

県立病院ニュース

第2号

平成18年5月発行

発行 福島県病院局改革グループ <http://www.pref.fukushima.jp/kenbyou/index.htm>

本号より「県立病院のみらい」と「管理者のひとこと」を連載します。

「県立病院のみらい」では各県立病院から将来の抱負やサービス向上への取り組み事例などについて紹介していただきます。また、「茂田管理者の今月ひとこと」では茂田管理者のコラムを掲載します。

県立病院のみらい

県内唯一の公的単科精神病院として

矢吹病院

矢吹病院では、平成12年3月に(財)日本医療機能評価機構から病院機能評価の認定を受けていましたが、このたび継続審査を受審し更新認定を受け、平成18年4月17日付けで病院機能評価の認定証が交付されました。

当病院は、県内唯一の公的単科精神病院としての責務を果たすため、数多くの処遇困難患者や触法患者を受入れています。また、精神保健業務懇談会を開催し市町村との連携を密にするとともに、白河厚生総合病院と連携関係を明確にし地域医療連携に努めています。中長期的には、救急医療や児童思春期医療などの種々の政策医療においてセンター的役割を果たすことが必要になると考えられますが、民間精神病院をリードしながら福島県の精神医療の模範とされる病院を常に目指しています。

また、保健・医療・福祉が一体となって患者様の家庭や地域における自立生活を支援する体制づくりが不可欠となっておりますが、当病院では、デイケアや訪問看護の充実を図るとともに、泉崎村にある精神障害者地域生活支援センター「こころん」との連携を図り、地域で生活する精神障がいを持つ方の社会復帰を支援しています。さらに、アルコール依存症の患者様を対象としたアルコール教室や、精神科疾患啓発に向けた家族会会員を対象とした家族教室を開催するなど、各々のニーズに応えた活動を展開しています。

子供からお年寄りまで各ライフステージに応じてきめ細かな心のケアが求められる現代において、本県における精神医療の進むべき将来像を見据えながら、時代の要請に応える病院機能の充実・強化を図り、今後とも、県民の皆様信頼されるすばらしい県立病院として、医療の質の一層の向上が図られるよう努めてまいりたいと思っております。

子供からお年寄りまで各ライフステージに応じてきめ細かな心のケアが求められる現代において、本県における精神医療の進むべき将来像を見据えながら、時代の要請に応える病院機能の充実・強化を図り、今後とも、県民の皆様信頼されるすばらしい県立病院として、医療の質の一層の向上が図られるよう努めてまいりたいと思っております。



矢吹病院



茂田管理者の今月のひとこと



トリインフルエンザと言えば日本では大規模な養鶏場でのニワトリの集団感染を思い浮かべますが、東南アジアではガチョウやアヒルなどの水鳥の飼育施設での集団感染が多いのです。香港、ベトナム、タイなどの家禽の集団感染からこのウィルスが100名以上のヒトに感染し、50%近くの人が死亡しています。通常のインフルエンザでの死亡率は0.01

%ですから、如何にこのトリインフルエンザの人への感染が重症であったか想像できます。1918年に世界的な大流行を起こし死亡率も高かったスペイン風邪の病原ウィルスはトリインフルエンザウィルスが変異して人に広がったもので、いま家禽（ニワトリ、アヒル、ガチョウ、七面鳥など）に流行しているトリインフルエンザウィルス（H5N1型と言います。）も、いつか人間の間に広がって流行を起こすのではないかと恐れられています。元来トリインフルエンザウィルスは人の細胞には感染しないのですが、ウィルスの遺伝子に何かの変異が起こると感染を起こすようです。東南アジアの例では大規模に家禽を飼っている農家の人から病気のトリから大量のウィルスを直接に吸い込んだために罹患したようです。幸いなことにこのウィルスはまだ人から人へと感染して広がる傾向はありません。

多くの場合、SARSなどの危険な感染症の発生は低開発諸国から起こり、それは抗ウィルス薬やワクチンなどの供給が困難な経済的な貧困が原因と考えられてきました。しかし、これは必ずしも正しくありません。むしろ感染症に対する公衆衛生の未熟さ、すなわち、感染症に対する政策の貧困さと国民の知識（意識）の低さが原因であるというのが通説となっています。私たちは医療に携わる者の一人として、常に日本の医療・公衆衛生政策のレベルを国際的な見地から比較認識し、また日本国民の一人として医療や公衆衛生についての意識を高く持ち続けるように心がけましょう。



◇お知らせ◇

近日、南会津病院から、病院機能評価認定へ向けた取組や受審時に大変だったことなどを紹介していただいた「病院機能評価を受診して」を掲載した、県立病院ニュース特集号を発行します。お楽しみに。

～ご意見・ご感想をお寄せください～

親切 信頼 進歩

Eメール:kaikaku@pref.fukushima.jp FAX:024-521-7924 【病院局改革グループ】